

2017年度 シラバス情報表示画面

科目コード : 43113 単位数 : 4

科目名	経済学史	科目責任者	坂本 幹雄
課題と試験担当教員	坂本 幹雄		
履修方法	T テキスト学習		
ナンバリング	CECON353		

■ 科目概要

経済学300年の歴史を学習します。

17世紀の経済学の形成期から始まって20世紀の経済学に至るまでの科学史としての経済学を学習します。

経済学の持っている多様性と相対性、その豊かさと広がりそして深さを知ることができます。

- (1)17世紀の重商主義の経済諸学説
- (2)18世紀の自由主義経済学の系譜
- (3)18世紀経済学の創始者たちの経済学
 - ①フランソワ・ケネーの経済学②J. スチュアートの経済学
- (4)アダム・スミスの道徳哲学と経済学
- (5)古典派経済学①リカードウの経済学②J. S. ミルの経済学
- (6)社会主義思想とマルクスの経済学
- (7)19世紀の限界主義経済学ークールノーの経済学
- (8)限界革命の経済学
 - ①ジェヴォンズの経済学②メンガーの経済学
- (9)フルラスの一般均衡論の経済学
- (10)マーシャルの経済学
- (11)歴史学派と歴史学派の経済学
- (12)ケインズのマクロ経済学
- (13)20世紀前半の経済学

■ 到達目標

- (1)経済学史の対象・方法・意義を理解すること。
- (2)経済学の多様性・相対性を理解すること。
- (3)各世紀の経済学の概要を理解すること。
- (4)経済学の主要古典の学説の概要を理解すること。
- (5)好きな経済学者ができること。

■ 科目の計画・内容

学習範囲 該当する章など	学習内容
まえがき 新版に際して 学習指導書	(1) 経済学史の通史 (2) 経済学史の伝記的アプローチ (3) 経済学史の特徴 (学習指導書) 経済学の語源的説明
第1章	経済学史の特徴 第1節 経済学史の背景・課題・方法 第2節 経済学史概観
第2章	重商主義の経済諸学説 第1節 重商主義の特徴 第2節 ウィリアム・ペティの経済学

学習範囲 該当する章など	学習内容
第3章	経済学の形成期 第1節 自由主義経済学の潮流 第2節 カンティロンの経済学 第3節 ヒュームの文明社会論と貨幣論
第4章	ケネーの経済学 第1節 ケネーの生涯と著作 第2節 ケネーの『経済表』
第5章	ステュアートの経済学 第1節 ステュアートの生涯 第2節 『経済の原理』の構成と意図 第3節 『経済の原理』第1編 第4節 『経済の原理』第2編 第5節 流通理論
第6章 学習指導書	スミスの経済学 第1節 スミスの生涯と著作 第2節 『道徳感情論』 (学習指導書) 利己心・人間愛・良心
第6章	スミスの経済学 第3節 『国富論』の目的と構成 第4節 『国富論』第1編 (学習指導書) 利己心・人間愛・良心
第6章 学習指導書	スミスの経済学 第5節 『国富論』第2編 第6節 『国富論』の財政論 (学習指導書) スミスの「見えざる手」
第7章	リカードウの経済学 第1節 古典派経済学の概要 第2節 リカードウの生涯と著作 第3節 『経済学および課税の原理』
第8章	J. S. ミルの経済学 第1節 ミルの生涯とその時代 第2節 『経済学原理』
第9章	マルクスの経済学 第1節 社会主義思想の潮流 第2節 『資本論』－労働価値説と剰余価値説
第9章	マルクスの経済学 第2節 『資本論』－労働価値説と剰余価値説 第3節 『資本論』－資本の蓄積と産業予備軍
第10章	クールノーの経済学 第1節 19世紀の限界主義経済学 第2節 クールノーの生涯と著作 第3節 『富の理論の数学的原理に関する研究』－クールノーの数理経済学
第10章	クールノーの経済学 第3節 『富の理論の数学的原理に関する研究』－クールノーの数理経済学
第11章	ジェヴォンズの経済学 第1節 ジェヴォンズの生涯と著作 第2節 『経済学の理論』
第12章	メンガーの経済学 第1節 メンガーの生涯と著作 第2節 『国民経済学原理』 第3節 『経済学の方法』－メンガーの方法論

学習範囲 該当する章など	学習内容
第13章	ワルラスの経済学 第1節 ワルラスの生涯と著作 第2節 『純粹経済学要論』－ワルラスの一般均衡論
第14章	マーシャルの経済学 第1節 マーシャルの生涯と著作 第2節 『経済学原理』
第14章 学習指導書	マーシャルの経済学 第2節 『経済学原理』 (学習指導書) 貨幣数量説
第15章	歴史学派と制度学派 第1節 歴史学派 第2節 ヴェブレンと制度学派 第3節 ウェーバーの社会科学方法論－価値自由と理念型
第16章	ケインズの経済学 第1節 ケインズの生涯と著作 第2節 貨幣論－基本方程式
第16章	ケインズの経済学 第3節 『一般理論』－ケインズの貨幣的経済学 (学習指導書) ケインズの自己利子率論 牡牛と熊
第16章	ケインズの経済学 第4節 『一般理論』－ケインズの経済思想と経済政策 (学習指導書) ケインズ「自由放任の終焉」
第17章	20世紀前半の経済学 第1節 ヴィクセルの累積過程 第2節 ヒックスの『価値と資本』
第17章	20世紀前半の経済学 第3節 ヒックス＝ハンセンのIS－LM分析
第17章	20世紀前半の経済学 第4節 ハロッド＝ドーマーの経済成長論
第17章 学習指導書	20世紀前半の経済学 第5節 シュンペーターの分析とヴィジョン (学習指導書) ジョン・ロビンソン「経済学の第2の危機」
まとめ	試験出題範囲を確認のうえ、演習問題学習

■ 学習方法・評価

種別	評価基準
試験	(1) 学問としての経済学史の理解度 (2) 各世紀の経済学の理解度 (3) 経済学の主要古典の学説の理解度
レポート	(1) 学問としての経済学史の理解度 (2) 各世紀の経済学の理解度 (3) 経済学の主要古典の学説の理解度

■ 評価方法

- 科目試験：70%
- レポート：30%

■教科書

書名：経済学史
著者名：坂本幹雄
出版社名：創大通信教育部
出版年：2009.4
版：新版
刷：
ISBN：978-4-86302-026-9

■参考書

- (1) アダム・スミス、2001年『国富論』全4冊、水田洋監訳・杉山忠平訳、岩波文庫。
(2) J. M. ケインズ、2008年『雇用、利子および貨幣の一般理論』間宮陽介訳、岩波文庫。

■履修上のアドバイス

- (1) 各回・各章の要点の整理、学習のまとめとして、学習指導書の演習問題を活用してみましよう。科目試験やレポート作成にも活用しましょう。
- (2) 各経済学者の語法・思考様式等は独特です。
- ① 自分が特に関心・興味を持った経済学者がいれば、学習指導書の参考文献を手がかりに、原典を直接読んでみましょう。教科書の要約とはまた異なった「作品」としての感動が得られると思います。
- ② 現代経済学とは異なるさまざまな側面が見られます。そこに温故知新の可能性もあると思います。

■自習時間

1回（1コマ分）90分につき120分基準により、30回（30コマ）×2時間（120分）=60時間（3600分）

■担当者のプロフィール

主要担当科目として、本科目の他に共通科目の経済学、専門科目の経済数学入門、マクロ経済学
他の担当科目として、共通科目の人間教育論、自立学習入門、数学基礎、共通基礎演習